

事業名	江戸川総合人生大学
事業の特徴	地域課題を解決するために必要な継続的な学習機会の提供と修了者との協働によるより良いまちづくりの推進

実施機関名	江戸川区文化共育部文化課江戸川総合人生大学推進室
連絡先	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町7-20-19 TEL 03-3676-9075 FAX 03-3676-6545 URL http://www.sougou-jinsei-daigaku.net
事業規模	市区町村
事業主体	首長部局
事業のテーマ分野	総合的な学習機会の提供（「共育」「協働」の学びと実践の場）

1 事業の概要

江戸川総合人生大学（以下、「大学」※という。）は、地域貢献を志す方を応援するために設立された「共育・協働」の学びと実践の場である。

修学期間は2年で、江戸川まちづくり、国際コミュニティ、子ども支援、介護・福祉の4つの学科があり、学科ごとの専門科目と選択ができる共通基礎科目を学び、知識と経験を高める。2年次には40時間の社会活動体験（ボランティア体験）もあり、グループワークや体験学習、イベントの実施など、多様な方法で地域活動への実践力を高める。



生き生きとした学生たち



北野学長の講義

卒業後は、自ら地域課題を掘り起こし、個人やグループを作って地域貢献活動に取り組むことを目指している。また、卒業生が講師として授業を担当したり、大学祭等のイベントに参加する等、卒業後の交流も盛んに行われている。

※学校教育法等で定める正規の大学ではない。

2 事業の趣旨、目的

江戸川区では、平成14年7月に、これからの区政運営の指針となる長期計画「えどがわ新世紀デザイン」を策定した。この計画は、地域、家庭が互いに助け、支え、教え、学び、育てあう「共育」のもとに、区民と区が「協働」してまちづくりを進めていくことを基本としている。その中で、「学びと協働による区民文化づくり」を大きな柱に据え、この計画の理念の象徴的な場として「江戸川総合人生大学」の設置が計画された。

学識経験者や、区民からなる設立準備委員会で検討を進め、平成16年10月、明治大学教授の北野大氏を学長に迎え、地域の課題解決に向けた「共育・協働」の文化創造の一翼を担う「学びと実践の場」として開学した。

江戸川総合人生大学は、社会の現実や文化、歴史などの学びを通して、自らと世界との深い関わりを理解し、どんな力を社会に与え得るかを考え、その可能性を見出す学びの場である。

時代に潜む課題を掘り起こし、豊かな人生を実現する人々の「共育」「協働」の文化を育む。

3 事業の内容

(1) 学習の内容

北野学長による講義をはじめ、100人を超える講師陣により多彩な授業を展開している。

2年間の学びの中で地域貢献活動に必要なノウハウをより多く習得するため、多様な形態の授業を取り入れている。

【専門科目】

①江戸川まちづくり学科

まちづくりコンサルタントの佐谷和江氏を学科長に、より暮らしやすいまちにするため、自分にできる地域活動について考えていく。

②国際コミュニティ学科

青山学院大学名誉教授ジョージ・W・ギッシュ氏を学科長に、各国の文化や事情、在住外国人を取り巻く現状・課題などを学び、地域の中での国際交流や外国人との共生のあり方について考えていく。



グループワーク



体験学習

③子ども支援学科

お茶の水女子大学大学院教授の三輪建二氏を学科長に、子どもの心理や子どもを取り巻く社会環境を学び、未来を支える子どもたちの成長のために、家庭や地域でどのような取り組みが必要なのかを考えていく。



イベント企画

④介護・福祉学科

福祉ジャーナリストの村田幸子氏を学科長に、高齢者や障害者を地域でどのようにサポートできるのか、そのためにどんな問題があるのかを考え活動の方法を見出す。

【共通基礎科目】

地域で活動するための幅広い知識や見識等の基礎的事項について学ぶ。

〈必修〉

①えどがわ入門

〈選択（2科目）〉

②みんなで創る安全・安心

③地球環境を考える身近な活動

④くらしと健康

⑤カウンセリングの基礎

（2）学習成果を活用したボランティア活動等の内容及び推進の方法

大学では、2年間の学びの中で自ら地域課題を掘り起こし、そのために何ができ、どう活動していく必要があるかなどを考えていく。

大学の学びで見出した地域課題は様々なジャンルに分かれていて、地域貢献活動の形態も、グループであったり個人であったりと様々である。そのため、自ら地域と調整し活動に繋げていくよう、自主性・自発性を重視している。

これまで、約30のグループが結成され、まちづくり、国際交流・多文化共生、子育て、介護・福祉などの分野で活動している。卒業生は、大学の授業の講師を担当したり、大学で主催するイベント等で活動紹介をするなど相互に連携・協力体制をとっている。卒業後の連携、情報交換、あるいは親睦のために同窓会を自主運営している。

卒業生グループの活動の様子



江戸川ガイドグループ



歌声談話室



大学祭

(3) 推進体制等の仕組み

区は、江戸川総合人生大学推進室を置き、大学を運営している。活動に伴って発生した課題の相談や行政情報の提供を行うほか、卒業生でつくる「同窓会」と連携を密にし、卒業後の地域貢献活動が円滑かつ活発に展開する環境づくりに努めている。専用の講義室や活動室をグループの打合せや主催イベント会場などとして提供するほか、区民館などの地域施設を活動の場として活用しやすい環境づくりに努めている。

地域の課題解決には、行政との調整が必要になる場面も多く、このような場合のパイプ役を担ったり、行政情報の提供を行うほか、江戸川区の現状と課題を学ぶため、江戸川区長や区幹部が講義する「えどがわ入門」を実施している。

また、区ボランティアセンターでは、登録した地域貢献活動グループに活動助成を行うなど、大学とボランティアセンターが連携し活動の促進を図っている。

さらに、環境にやさしいまちの実現を目指すNPO法人「エコセンター」との合同授業を実施するなど、地域との連携を重視した運営を行っている。

4 成果と今後の取組

平成16年の開学以来、500名近い区民がこの大学で学んでいる。そのうち、約300名が卒業し、約30の活動グループが結成された。個人・団体を問わず、在学時代に築いた学生同士や地域とのネットワークを活かしながら地域貢献活動に取り組んでいる。

また、2年間の学びの中で、自身が持つ知識や経験を生かしたり、違った見識の学生とコミュニケーションをとることで、その人自身の生きがいがいづくりにもつながっている。

今後も、公開講座の実施や聴講生募集を積極的に行い、大学への理解をさらに浸透させていくとともに、時代に合ったカリキュラムへの再編などにより、学びやすい環境づくりに努め、多くの方々がこの大学で学び、各地域で活躍していくことで、共育・協働のまちづくりを進める。

【執筆者の職・氏名】江戸川区文化共育部文化課 江戸川総合人生大学推進室 吉野 勝敏